

暮らし

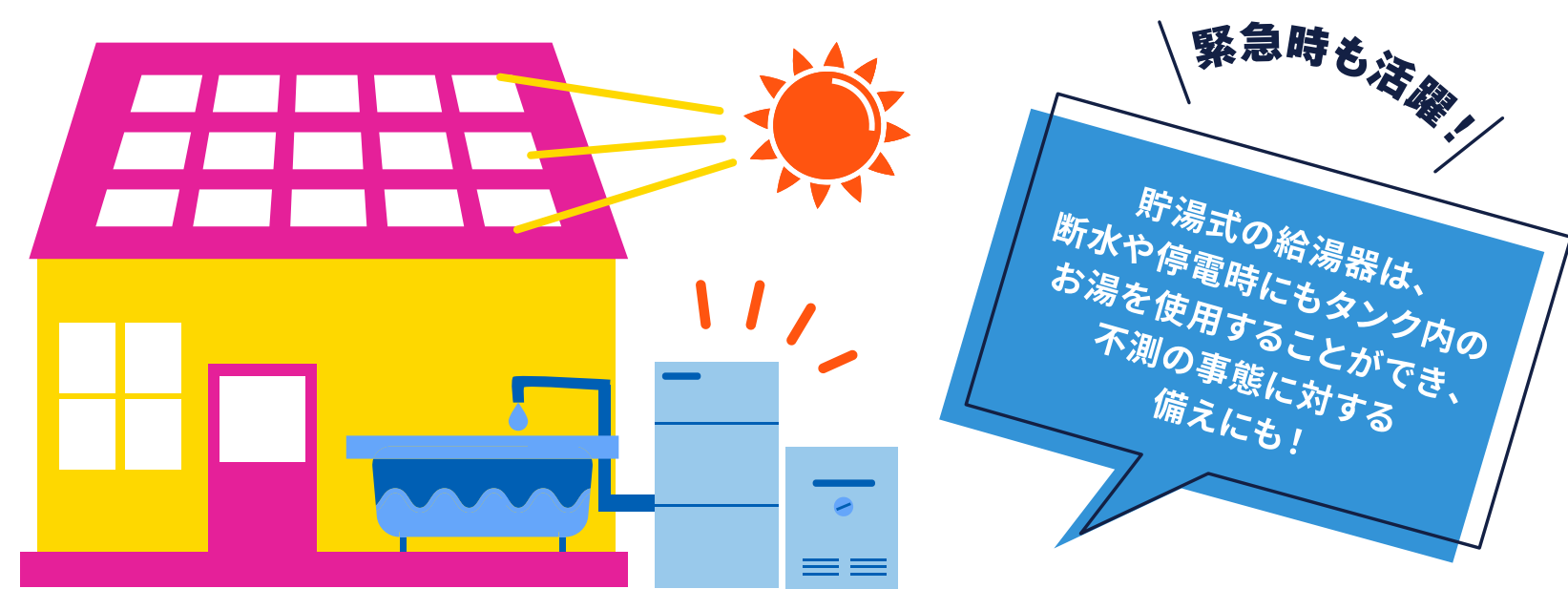
家電や住宅設備の選び方次第で 節約もできてCO2も削減。

お家をお持ちの方でも、賃貸にお住まいの方でも、どのような家電や住宅設備を選択するかで、日々の暮らしの中で排出されるCO2の量を低減し、私たちの未来を守れるだけでなく光熱費の節約にもつながる、地球にも私たちにも嬉しい「デコ活」ができます。

何ができるかな？それをするとなんが良いの？

高効率の給湯器を取り入れる

節約やエコ効果だけじゃないメリットも！



光熱費の大幅な削減

エコキュート、エコジョーズ、エネファームなどの高効率給湯器等は、仕組みがそれぞれ異なるものの、どれも従来の給湯器に比べて光熱費が削減できるため、長期的にみて大幅な節約が期待できます。

環境負荷の軽減

どの高効率給湯器等も従来型に比べてエネルギー効率が高いため、CO2排出量を大幅に削減できます。特に、電気を熱源とするエコキュートは、太陽光発電などの再生可能エネルギーと組み合わせることで、CO2排出量をほぼゼロにすることも可能です。

省エネ家電を選んでみる

節約や省エネ効果だけでなく、快適さもUP！



電気代の削減

省エネ家電は、同じ機能をもつ従来の家電と比べてエネルギー効率が高く、使用する電力が少なくなるため、光熱費の節約に。

快適性の向上

省エネ家電は最新技術を取り入れているため、省エネ性能だけでなく快適性も向上しています。例えば、省エネエアコンは、温度を均一に調整し、静かに運転する機能などがあり、日々の生活を更に心地良く送ることができます。

省エネの定番LEDでもっとエコ

交換頻度が少ないので、手間もゴミも少なく



長く使えて、低消費電力

LED電球は、蛍光灯に比べ消費電力とCO2排出量が約半分。^{*}これによりエコと節約が叶います。また、蛍光灯よりも使用可能期間が長いので、交換頻度が少なく、廃棄物の総量が減少することで、環境への負荷も軽減できます。

※出典：「一般社団法人 日本照明工業会」HPより作成

発熱量が少ないことで冷房効率向上

LED電球は発熱量が非常に少ないため、夏場は室内温度が上がりにくくなり、冷房効率が向上することも期待できます。

HEMSでエコ見える化

エネルギーの見える化、遠隔化で更にお得に暮らしやすく



電気使用量の「見える化」

HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)は、電気使用量を計測し、リアルタイムでデータを提供するため、家庭内の電力消費パターンを把握しやすくなり、無駄な電力使用を減らすための具体的な節電対策が立てやすくなります。

遠隔操作・自動制御機能

スマートフォンやタブレットを使って、帰宅前にエアコンをつけたり、消し忘れた照明をオフにするなど、外出先から家電を遠隔操作することが可能です。また、使用パターンに基づいて最適なタイミングで家電を運転させることで、省エネ効果も期待できます。

